

空き店舗数の減少に資する事例

【埼玉県川越市 人口：353,446人（令和4年） 計画期間：平成27年4月～令和2年3月】

成果

【中心市街地における空き店舗数の減少】

基準値 74人店舗（H24） → **62**店舗（R1）

取組のポイント

まちづくり会社のトライアル支援及び立地決定に必要な情報提供、商工会議所の経営ノウハウ活用した堅実な新規出店増加。

事業概要

【チャレンジショップ事業】

空き店舗等の借り上げにより、新規起業家の立ち上げを支援、経営指導の実施、中心市街地エリアでの開業支援（株）まちづくり川越）

中心市街地商店街の空き店舗を借り上げて、チャレンジショップとして出店を希望する新規開業者等に対し貸し出し、経営指導等を行い、独立開業を支援。

商業の担い手の育成と空き店舗解消、ひいては商店街の活性化に資する事業であることから、基本方針である「にぎわいの創出」に寄与する。



伴奏型サポート

専門性を活かした経営サポート

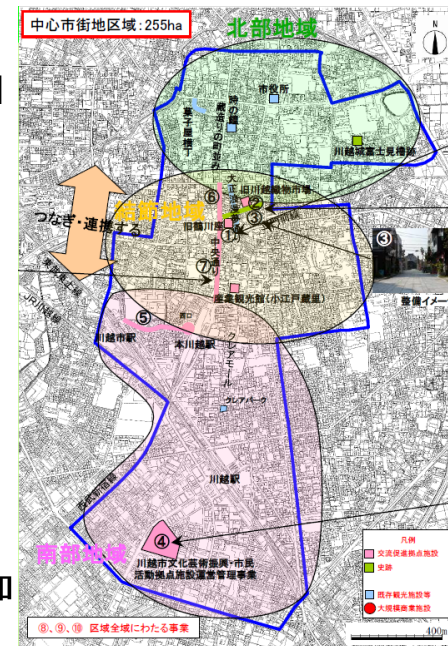


- パートナー機関と連携支援
- アセスメント(中小企業診断士)
- 経営革新計画策定
- 補助金申請支援
- 融資サポート
- 寄り添い型の密着支援

商工会議所の専門性

【川越市概要】

中心市街地
約255ha



多種多様な出店の増加

【活用した支援措置】

中心市街地活性化ソフト事業（総務省））

テナントミックス事業

まちづくり会社が、空き地、空き店舗の情報を集約、必要に応じて、業種・業態を考慮した個店の業種構成の見直し、不足業種店舗誘致に向けた調整を行った。

中活プログラムの視点

2-2) 空き店舗対策の強化

アパレル	青果
テナントミックス	
飲食	芸術

若手人材育成事業

若手経営者・商業主等を対象に、時代の変化や消費者等のニーズにあった商業経営のあり方等について、研究会・勉強会を実施・支援した。

中活プログラムの視点

4-2) 人材の確保・育成の強化

